

2021年6月刊行予定

社会経済史学会 創立90周年記念

# 社会経済史学事典

## 社会経済史学会 編

A5判・800頁  
定価24,200円(本体22,000円+税10%) ISBN978-4-621-30602-4

- 社会経済史研究の全体像を体系的に提示。
- ワンテーマ見開き(2または4頁)完結でどこから開いても興味深く読める。
- 日本国内外の研究者245名が総力をあげて編集&執筆。
- 「社会経済史学の歴史と方法」「交易と商業」「生産と技術」「消費」「金融」「雇用と労働」「福祉と社会保障」「医療と衛生」「家族・人口・ジェンダー」「交通と情報」「人の移動」「資源・環境・エネルギー」「都市」「国家」「戦争と経済」「国際秩序と開発」16章立てに308項目を凝縮。



社会経済史学会 創立90周年記念

# 社会経済史学事典

## 社会経済史学会 編

A5判・800頁  
定価24,200円(本体22,000円+税10%) ISBN978-4-621-30602-4

編集委員長  
馬場 哲  
武蔵野大学経済学部 教授

編集幹事

神田 さやこ  
慶應義塾大学経済学部 教授

鎮目 雅人  
早稲田大学政治経済学術院 教授

城山 智子  
東京大学大学院経済学研究科 教授

須藤 功  
明治大学政治経済学部 教授

谷本 雅之  
東京大学大学院経済学研究科 教授

矢後 和彦  
早稲田大学商学学術院 教授

編集委員

石原 俊時  
東京大学大学院経済学研究科 教授

大月 康弘  
一橋大学大学院経済学研究科 教授

小野塚 知二  
東京大学大学院経済学研究科 教授

小堀 聡  
京都大学人文科学研究所 准教授

島田 竜登  
東京大学大学院人文社会系研究科 准教授

菅原 歩  
東北大学大学院経済学研究科 准教授

杉浦 未樹  
法政大学経済学部 教授

高嶋 修一  
青山学院大学経済学部 教授

永島 剛  
専修大学経済学部 教授

中村 尚史  
東京大学社会科学研究所 教授

鳩澤 歩  
大阪大学大学院経済学研究科 教授

満園 勇  
北海道大学大学院経済学研究院 准教授

山本 千映  
大阪大学大学院経済学研究科 教授

横井 勝彦  
明治大学商学部 教授

渡辺 昭一  
東北学院大学文学部 教授

(五十首順)

## 関連書籍



### 現代地政学事典

現代地政学事典 編集委員会 編  
A5判・888頁 定価26,400円(税込)  
ISBN978-4-621-30463-1

現代の地政学は複雑化する空間と政治を考察する学問へ変貌しつつある。国家以外のアクターも分析の射程に入れた「新しい」地政学を構築する事典。



### リスク学事典

日本リスク研究会 編  
A5判・832頁 定価24,200円(税込)  
ISBN978-4-621-30381-8

経済・金融・法律・環境・防災科学・食品など様々な分野で想定されるリスクの対応策・評価手法を解説し個別分野に留まらない相互参照を可能にした他に例のない中項目事典。



### 環境経済・政策学事典

環境経済・政策学会 編  
A5判・814頁 定価22,000円(税込)  
ISBN978-4-621-30292-7

環境経済・政策学会設立20周年記念出版。環境と経済・政策の関わりについて基本項目／重要項目を取り上げ、環境問題の解決のための視座を提供する中項目事典。



### クルーグマン国際経済学 理論と政策 (原書第10版)

上:貿易編 下:金融編

山形 浩生・守岡 桜 訳 A5判  
上:416頁 定価4,400円(税込)  
ISBN978-4-621-30057-2

下:502頁 定価5,500円(税込)  
ISBN978-4-621-30058-9

世界で最も読まれている国際経済学テキスト。懇切丁寧な説明とグラフによる視覚的な解説で、ミクロ経済、マクロ経済、経済数学などの基礎知識がなくとも理解できる。

## 丸善出版株式会社

〒101-0051 東京都千代田区神田神保町2-17 神田神保町ビル 書籍営業部 TEL(03)3512-3256 FAX(03)3512-3270 <https://www.maruzen-publishing.co.jp>

## 丸善出版株式会社 行 FAX 03-3512-3270

注	社会経済史学事典 定価24,200円(本体22,000円+税10%) ISBN978-4-621-30602-4	冊
		冊
文	お名前	
	ご住所 〒	
書	TEL	

※ご注文をいただいた個人情報、書店、取次(流通)・弊社間で商品手配の目的に利用させていただきます。

取扱店

tkp.21.He



最新情報・詳細はこちら  
丸善出版株式会社

## 丸善出版

電子書籍のお求めはこちらから



## 刊行にあたって(一部抜粋)

社会経済史学は、社会経済の歴史を研究する学問分野である。空間的には日本、アジア、ヨーロッパ、アメリカ、アフリカなど全世界に及び、時間的には中世あるいはそれ以前から現代に至る長い期間をカバーしている。方法的にも経済学と歴史学という二大母体を基盤としつつ、社会学、地理学、人類学、人口学などの人文社会科学、さらに衛生学、気候学をはじめとする自然科学も必要に応じて利用する学際性の強い学問である。

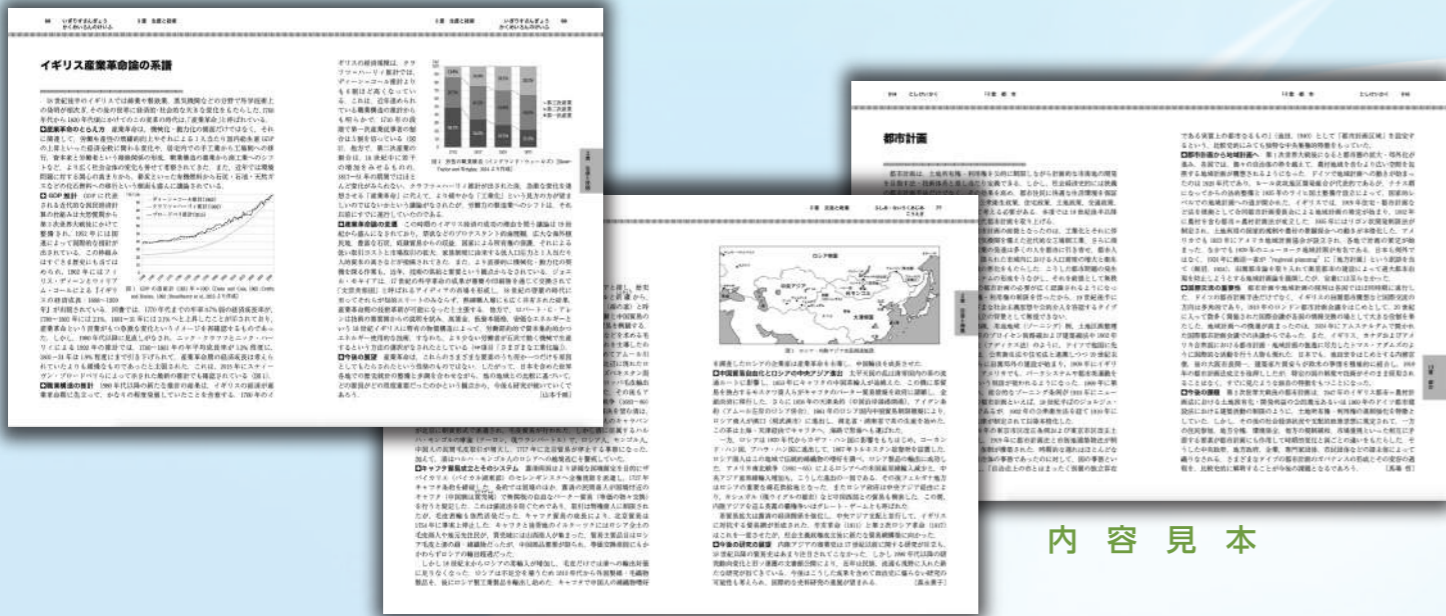
今回の事典編纂で確認できたのは、社会経済史学は異なる方法や対象やアプローチの存在を尊重し、協働していくことによって発達してきたこと、そして今後の発展もそれを抜きにしてはあり得ないことである。すなわち、経済学や歴史学の理論的・方法的発展を綿密な実証作業や学際的視点によって検証する一方、新たな理論・方法や計量分析の結果を役立てようとするのが社会経済史学の発展と健全性を担保しているのである。

本事典は、社会経済史学の全体像を最新状況を踏まえてできるだけ体系的に示すことを目的としている。このような社会経済学の全貌を適切に示す章別構成としては、歴史を扱う以上、時代と地域で分けるオーソドックスな方向がまず考えられたが、議論を経るなかで、そのことにはこだわらずに分野別の構成を採用することになった。そのほうが、斯学の広がりや現状をよく表現できると考えたからである。本事典の章構成を大まかに分類すれば、以下の通りである。1章で斯学の歴史と方法、2～6章で経済活動の諸分野、7～9章で経済活動を営む人々の生活と生存、10～11章で人々の交流と移動、12章で人々を取り巻く自然環境、13～14章で社会経済活動の政治的・領域的枠組み、15～16章で国家間の諸問題を取り上げている。

本事典の刊行は、社会経済史学会創立90周年記念事業という意義をもつ。社会経済史学会は、1930年に創立された、英米両国にも劣らない長い伝統をもち、会員数約1,400名を有する、社会経済史関連では日本で最大の学会である。総勢245名におよぶ執筆者の多くは会員であるが、項目の体系性を高めるために、執筆者を会員に限らずに非会員の方にもご協力を仰ぐことになった。編集委員会の要望に応じて項目執筆をお引き受けいただいた方々に厚くお礼申し上げる。

2021年4月

馬場 哲



## 内容見本

# Contents

### 1章 社会経済史学の歴史と方法 [担当編集委員:馬場哲・鎮目雅人]

社会経済史学の歴史と方法／ドイツ歴史学派と経済史／マルクス経済学と経済史／社会学と経済史／経営学と経済史／共同体論と経済史／社会史(日本)／社会史(英仏独)／歴史人口学／比較制度分析／経済人類学と経済史／計量経済学と経済史／開発経済学と経済史／グローバル・ヒストリー／長期GDP統計／日本における経済史研究／[コラム]戦後歴史学の展開①大塚久雄／[コラム]戦後歴史学の展開②上原専禄と増田二郎／[コラム]戦後歴史学の展開③中村隆英／[コラム]アダム・スミスと経済史

### 2章 交易と商業 [担当編集委員:城山智子・杉浦末樹]

商人集団・ギルド／家と商い／問屋と小売／市場の階層性／市場圏／港市／特許会社／禁輸体制と互市／商品取引所／商社／流通革命／地中海東部・西アジア交易／インド洋交易／ヨーロッパ域内交易／大西洋・アフリカ交易／ロシア・内陸アジア交易／アジア間交易／太平洋貿易

### 3章 生産と技術 [担当編集委員:神田さやこ・鳩澤歩]

農業技術の発展(ヨーロッパ)／農業技術の発展(日本)／農業技術の発展(アジア)／農業技術の発展(アメリカ)／農業と科学／さまざまな工業化論／イギリス産業革命論の系譜／日本の工業化／手工業(中国)／手工業(日本)／手工業(ヨーロッパ)／繊維産業の展開／窯業の展開(日本)／「世界の工場」としての中国／「世界の工場」としての南アジア／木材生産と林業技術／ビルディングとマニュファクチャリング／第2次産業革命(R&Dのはじまり)／生産システム／発酵／採掘／冶金／精製／土木／エネルギーシフト／技術移転／技術教育／[コラム]ソ連型農業／[コラム]海外視察と技術

### 4章 消費 [担当編集委員:神田さやこ・満園勇]

消費の歴史をめぐる理論的系譜／日本における消費史研究の系譜／ヨーロッパにおける「消費革命」／近代アジアにおける「西洋化」と消費／奢侈品／百貨店／マーケティングと消費／巡礼と門前町／観光産業の展開(日本)／芸術・エンターテインメント／コンテンツ消費／文明開化と消費生活／儉約の思想と生活改善／消費者運動の展開／家族と消費／消費とジェンダー／大衆消費社会の国際比較／新興国の成長と消費

### 5章 金融 [担当編集委員:鎮目雅人・菅原歩]

金融業の起源(貸借の歴史)／貨幣の起源／商業金融と銀行／証券市場と投資銀行／中央銀行／金融と経済成長／金融と財政／金融と物価／金融規制／銀行監督／庶民金融／金融のグローバル化／中近世日本の金融／近代日本の金融(戦前)／近代日本の金融(戦後)／中国の金融／インドの金融／イスラーム金融

### 6章 雇用と労働 [担当編集委員:谷本雅之・小野塚心二]

雇用と請負／職人の世界／徒弟制度／賃金／労働時間／工場法／労働組合と使用者団体／家内労働／鉱山労働／植民地と労働／労働基本権／国際労働運動／人事労務管理／中間管理職／学校教育と労働市場／日本的雇用システム／奴隷労働／人的資本／[コラム]退職制度／[コラム]長期休暇／[コラム]専門職

### 7章 福祉と社会保障 [担当編集委員:須藤功・石原俊時]

生存戦略／福祉の複合体／救貧法／フィランソロピー／友愛組合／戦争と福祉／ベヴァリッジ・プラン／社会保険／疾病保険／失業保険／家族政策／育児・介護／社会サービス／児童福祉／障害者福祉／パートナーリズム／企業福祉／ウェルフェア・キャピタリズム(福祉資本主義)

### 8章 医療と衛生 [担当編集委員:神田さやこ・永島剛]

医療・疾病の社会史・経済史／交易とパンデミック／公衆衛生の形成／慈善と医療・病院／医薬市場の多元性と規制(欧米)／医薬市場の多元性と規制(日

本)／近代衛生・医療と社会経済(西欧)／近代衛生・医療と社会経済(日本)／近代衛生・医療と社会経済(中国)／貿易と検疫／開発原病・帝国医療／開業医と病院／看護と保健／経済格差・疾病・公的医療(西欧)／経済格差・貧困・疾病(日本)／医療の社会化(日本)／経済発展と健康転換／製薬産業／医療機器産業／健康産業

### 9章 家族・人口・ジェンダー [担当編集委員:谷本雅之・山本千映]

家族と相続(ヨーロッパ)／家族と相続(日本)／家族と相続(アジア)／家族と相続(イスラーム圏)／ファミリービジネス／結婚と家族／人口理論と世界人口史／体位の変動と人口・経済／産児制限と人口動態／都市化と人口／飢饉・疾病と人口／性別分業／工業化と女性労働／工業化と児童労働／家族賃金の形成／ケア労働と国際労働移動／ケアと家族／女性の労働供給(M字型カーブの比較史)

### 10章 交通と情報 [担当編集委員:城山智子・中村尚史]

国際海運／日本の水運／船舶／道路／自動車／鉄道／日本の鉄道／機関車／航空／航空機／書信・信号／郵便／電信／電話／デジタル化／印刷／新聞・雑誌／ラジオ・テレビ

### 11章 人の移動 [担当編集委員:鎮目雅人・島田竜登]

人の移動と経済史／ディアスポラ／迫害・戦争と難民／ヴァイキング／大航海時代／アフリカ人奴隷貿易と中南米／北米へのヨーロッパ移民／南アフリカへの移民／オーストラリアへの移民／イギリスの移民政策／移民国家／ムスリム商人／インド洋世界の奴隷交易／印僑／華僑／日本人移民(アジア)／日本人移民(南北アメリカ)

### 12章 資源・環境・エネルギー [担当編集委員:城山智子・小堀聡]

資源へのまなざし／コモンズ／水資源／森林資源／食料資源／資源メジャー／石炭／石油／原子力／電気事業／家庭用エネルギー／再生可能エネルギー／産業革命と公害／アジアの工業化と公害／廃棄物とリサイクル／自然保護／地球環境問題／古気候学／人新世

### 13章 都市 [担当編集委員:馬場哲・高嶋修一]

日本近世都市／日本近現代都市／ヨーロッパ中世都市／ヨーロッパ近世都市／ヨーロッパ近現代都市／アメリカの都市／アジアの植民都市(植民地都市)／中国の都市／イスラーム都市／地中海都市／都市計画／都市行政／都市政策／住宅問題と住宅建設／ヨーロッパ都市の自発的結社／ヨーロッパの郊外化／日本の都市社会集団／日本の都市「下層社会」／都市と戦争・災害

### 14章 国家 [担当編集委員:谷本雅之・大月康弘]

古代国家／ローマ帝国／等族国家(身分制国家)／中世国家・帝権(皇帝権)／「中国」の構造／領主制の構造／国家と市場(ヨーロッパ)／国家と市場(イスラーム圏)／穀物備蓄政策(中国)／重商主義／国民国家の形成／国家と貨幣／殖産興業政策／国家と財政／国家と統計／福祉国家／政府間関係(中央と地方)／通商政策／産業政策

### 15章 戦争と経済 [担当編集委員:須藤功・横井勝彦]

軍需産業(軍産複合体)／帝国主義(植民地戦争)／戦債と賠償／戦争と女性／ブラック・マーケット(闇市場)／(東西)冷戦／アヘン戦争／第1次世界大戦／第2次世界大戦／ファシズム／日清戦争・日露戦争／武器移転／工業動員／戦時食糧統制／軍事援助／戦時金融(戦時財政)／宗教と戦争／アメリカ南北戦争／軍縮(交渉・協定)／陸軍工廠(日本)／海軍工廠／[コラム]死の商人

### 16章 国際秩序と開発 [担当編集委員:矢後和彦・渡辺昭一]

本位通貨制度と国際貿易／国際金融機関と現代の経済／米州の国際秩序／コモンウェルスと自由貿易体制／ポンド圏の生成と衰退／欧州経済統合の起源と展開／植民地帝国と植民地経営／日本の開発援助政策／東アジアの開発体制／東南アジア経済開発体制／南アジアの開発体制／アフリカの開発体制／中南米の開発体制／国連と開発／OECDと成長・開発体制／ILOと国際的な労働秩序／GATTと国際的な貿易体制